
あたためますか？

大島なるみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あたためますか？

【Nコード】

N6420B

【作者名】

大島なるみ

【あらすじ】

私の彼氏は最近アルバイトを始めた。どこにでもあるコンビニエンスストアでのアルバイト。ある日アルバイトの様子を、こっそり見にきた私だったけど……。

私の彼氏は最近アルバイトを始めた。どんなアルバイトかというと、大して珍しくもないコンビニのアルバイトだ。

バイトの初日、こっそり様子を見に行った時、私は思わず本で顔を隠しつつ、肩を震わせ笑ってしまった。

何故なら、彼は恥ずかしさからか耳を真っ赤にして吃りながら接客に徹していたから。それは、いつもの彼の姿からは、ちょっと想像できないくらい小心者になってしまっていた気がする。

でも今では、すっかり仕事も板についているみたいだ。

「いらつしやいませ」

特有のはにかんだ表情で、彼はお客さんを出迎えている。その対応はとても自然でそれでいてスムーズだ。

（上手くやってるじゃないの）

私はそんな彼の邪魔をしないように、見ていた雑誌を棚に戻すと、そそくさと出入口から外に出た。

そんな私の背後から

「ありがとうございます」

という、彼の声が聞こえてきた気もしたけれど……。

「な〜んで、黙って先帰っちゃうんだよ」

空気が凍え始めた頃、私が帰り道を1人急いでいると、通り過ぎた路地の電信柱の影から、聞き覚えのある声が聞こえてきた。

振り返るとそこには案の定、彼がいた。

「あれ？アルバイトは」

「今日は6時までだったの」

彼はそう言いながら、私のとなりに並んで歩きだす。

「来てたなら一声かけてくれたっていいじゃん。おれ、機会見て一緒に帰ろうぜって、声かけようとしてたのにさ」

「え？」

「なのに、逃げるように出ていつちゃってさ。なんか悔しかったから“ありがとうございました”って、大声でお前に言っただぜ。なのに反応ないし、周りのお客には変な目で見られるし、散々だったんだからな」

「……だって仕事の邪魔しちゃ悪いと思ったし。ちよつとした心遣いしただけじゃん。それなのに何よ、その悔しいからって理由、子供じゃあるまいし」

私はそうまくしたてながら、彼の手をパシンと叩いた。

「うわっ！」

私はその瞬間、その感触に驚いて声を張り上げてしまっていた。

「何、どしたの？その手。冷たすぎ、そういえば顔も……」

私がそう言うと、彼はゴホンと咳払いをして、そっぽを向いてしまった。それを見た私は、寒さでほのかに赤かった頬が、さらに赤くなるのを感じた。

「……もしかして、ずっとここで待ってたの？私が来るの」

「……」

彼が私の問い掛けに図星なことが分かったと、私は心のどこかくすぐつたい感覚に陥っていく。

「ばっかみたい、こんな冷たい手してまで」

私はそう口にしてから、彼の力チ力チに冷えきった手を両手で包み込んでみた。

彼の手は想像以上に冷えきっていて、どんどん私の手から熱を奪い取っていく。

「そりゃお互い様だろ」

「は？……ひゃっ！」

彼の言葉に首を傾げていると、急に彼は私の肩を抱き寄せてきた。

「寒かっただろ？だから一緒に帰ろうとしたのにさ」

「わ、私よりあんたの方が、冷えてるっての！」

「いいんだよ！」

何が良いんだか分からないけど、彼はそう言ってさらに抱き締め
てくる腕にギュッと力を込めてきた。

「こうしてれば、おれもあつたかくなるからさ」

そう言いながら彼は、もう何度か聞き慣れた言葉を、少しいつも
とは違う声音で、私の耳元にそつと囁いてきた。

——あたためますか？
と。

End .

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6420b/>

あたためますか？

2010年12月14日20時24分発行